

都市の緑 3 表彰（第 45 回緑の都市賞、第 36 回緑の環境プラン大賞、第 24 回緑化技術コンクール） 受賞者決定 及び 緑の環境プラン大賞 GREEN×EXPO 2027 開催特別企画の実施

緑豊かなまちづくりに貢献する市民団体、企業等を表彰します

（公財）都市緑化機構では、人々の暮らしに潤いと安らぎを与え、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全に寄与する都市の緑地保全と緑化推進の普及啓発を目的とした 3 つの表彰事業「都市の緑 3 表彰」を実施しております。

1. 令和 7 年度 都市の緑 3 表彰 受賞者決定

このたび、厳正な審査の結果、内閣総理大臣賞をはじめとする各賞の受賞者を決定いたしました。

第 45 回緑の都市賞 《内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞、他》

1981 年（昭和 56）年に創設。緑豊かな都市づくりの推進を目的に、みどりを用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げている市民団体、企業、公共団体等を表彰します。（P 2－P 4）

第 36 回緑の環境プラン大賞《国土交通大臣賞、他》

1990 年（平成 2）年に創設。同年に開催された「国際花と緑の博覧会」の理念を踏まえ、緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプランの実現のための助成を行います。（P 5－P 7）

第 24 回緑化技術コンクール旧屋上・壁面緑化技術コンクール《国土交通大臣賞、環境大臣賞、他》

2002 年（平成 14）年に創設。昨年度より名称を「緑化技術コンクール」に改めました。気候変動への適応、2030 年ネイチャーポジティブの実現、官民連携による居心地の良い空間づくりやにぎわい創出等の実現に資する緑化技術について、優れた成果をあげている企業、公共団体、個人等を表彰します。（P 8－P 10）

2. GREEN×EXPO2027 に向けた特別企画の実施について

2027 年に横浜市で開催される GREEN×EXPO 2027(2027 年国際園芸博覧会)に向けて、2026 年度の第 37 回「緑の環境プラン大賞」において特別企画を実施します。GREEN×EXPO 2027 が開催される 2027 年は、第一生命の創立 125 周年にもあたることから、シンボル・ガーデン部門「第一生命賞」の特別企画として、GREEN×EXPO 2027 の会場内を対象地とした「生命のにわ」を表現する『The Garden of Life』をテーマに緑化プランの募集を実施します。（P 11－P 14）

主催 （公財）都市緑化機構：会長 市川晃 東京都千代田区神田神保町 3－2－4
（一財）第一生命財団※：理事長 渡邊光一郎 東京都千代田区平河町 1－2－10
※ 緑の環境プラン大賞主催

第45回 緑の都市賞 受賞団体

応募総数32件、第一次審査会:2025年8月22日、第二次審査会:9月17日

◎内閣総理大臣賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概 要	
緑の事業活動部門	馬場川通り アーバンデザイン プロジェクト (群馬県前橋市)	都市再生推進法人(一社)前橋デザインコミッション/ 株式会社 ランド スケープ・プラス	中心市街地のまちづくり指針「前橋市アーバンデザイン」に基づいて、地元有志の寄付金によって公共空間の民間整備と住民自治的管理を実現。かつて生糸で栄えた市街地に張り巡らされた水路を豊かな緑とともにまちの環境装置と捉え直し、ウォーカブルなまちとして再生した。	

◎国土交通大臣賞 <3点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概 要	
緑の市民協働部門	世界遺産・ フィールドミュージアム 「おぎの美術館」 (奈良県奈良市)	奈良女子大学生 活環境学部住環 境学科景観デザ イン学研究室/ 一般財団法人公 園財団飛鳥管理 センター	奈良女子大学と平城宮跡歴史公園の共同研究プロジェクト。学生主体で世界遺産・平城宮跡で「おぎ」を主題とした期間限定の自然一体型屋外美術館を展開している。展示や近隣教育機関への出張授業、校外学習を通じ、公園の自然環境・潜在的魅力的の発信と、外来種の侵略により衰退している「おぎ」群落の保全という2つの課題解決を目指している。	
緑の事業活動部門	中外ライフ サイエンスパーク横浜 (神奈川県横浜市)	中外製薬 株式会社	地域社会との自然の調和、環境との共存を目指して建設され、在来種等を主体に緑地を創出し、周辺環境との生態系ネットワークを構築することを目的としている。西側の長さ約300mの緑地帯には、地域に開放された遊歩道を設け、地域住民の散歩や休息、NPO 法人の環境教育イベントに利用されている。またレインガーデンの整備など地域アメニティ向上に貢献している。	
緑の事業活動部門	「堺自然ふれあいの森」 が取り組む大阪府堺市 の南部丘陵における拠 点施設の構築 (大阪府堺市)	ふれあいの森 パートナーズ	約20年にわたり産官学民連携による保全型の公園として『市民協働での里山保全』や『体験型の自然学習の実践』に取り組んでいる。特に近年では、地域企業や近隣の大学生などの新たな担い手の参画の仕組み作りなど、南部丘陵全体の先導モデルとして、里山と人との新たな関わり方を模索する社会実験の場を構築している。	

◎都市緑化機構会長賞 <3点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	あいな里山公園における市民活動 (兵庫県神戸市)	あいな里山参画団体運営協議会	2010 年から国営明石海峡公園神戸地区あいな里山公園にて、15 のボランティア団体が自律的に維持管理をしつつ、人と自然との新たな共生の場として多様な活動を展開するとともに、茅刈り・茅葺き体験や田植えなど、里山に親しむイベントを実施している。	
緑の事業活動部門	Edible KAYABAEN (東京都中央区)	平和不動産株式会社	2022 年に東京証券会館屋上に整備された、約 200 種の食べられる植物を育てる都市型菜園。教育や交流、環境保全の拠点として、多世代・多主体の共創を促し、都市の緑の再構築と循環型社会への貢献を目指している。	
緑のまちづくり部門	田辺公園を活用した障がいのある人の自立支援について (京都府京田辺市)	京都府京田辺市/東レ建設グループ(東レ建設(株)・京阪園芸(株)・東洋コミュニティサービス(株))/(一社)京田辺みんなの働くプロジェクト	Park-PFIで整備した公園の管理・運営に障がいのある人が関わることで、社会的自立に向けた就労訓練・支援の場として活用している。6つの福祉事業所で設立された法人が指定管理者と連携し、公園内の業務をコーディネートしている。	

◎第一生命財団賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	大濠公園ガーデニングクラブ花壇づくり (福岡県福岡市)	大濠公園ガーデニングクラブ	2005 年から 20 年間「自然に限りなく近い花壇づくり」を理念に活動を続けている。多年草を中心に整備された花壇は、観光客や市民に癒しと学びの場を提供し、地域住民や企業との協働による花壇づくりは、都市の中で自然と人がつながる空間を創出し、公園の象徴となる存在に成長している。	

◎奨励賞 <4点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	北潟湖畔ガーデン体験と交流が生まれるクロステラス (福井県あわら市)	特定非営利活動法人 awarart	浸水によって荒地となっていた場所で、2011 年から地域住民とともに除草作業や植栽に取り組んできた。旅館や大学等を含む多様な分野・世代・地域の方が集まり、自然体験活動やまちかどのコミュニティ景観づくり活動などに取り組んでいる。	
緑の市民協働部門	安全で安心して住めるまち「花とみどりの夢広場」づくり (広島県呉市)	大道田まちづくり支援の会	豪雨災害による被害を機に、隣接する山林の治山ダム、その周辺の整備・修復を行い、防災・減災への意識向上を図る住民憩いの場として広場を整備した。保育園、小中学校と連携し、多世代交流できる地域の憩いの広場として活用されている。	
緑の事業活動部門	安部幼稚園における緑地の活用と保全 (神奈川県横浜市)	学校法人 安部幼稚園	創業者が私財を投じて設立した学校法人が確保した約1haの緑地「あべの森」は、周辺で急速な宅地化が進んでいるなか幼児教育に欠かせない貴重な森の中の園庭となっている。園庭を開放し住民にとっても貴重な自然となっている。	
緑の事業活動部門	川崎市麻生区早野梅ヶ谷特別緑地保全地区の保全活動 (神奈川県川崎市)	東京農業大学 地域環境科学部	2010 年より川崎市と連携し調査研究を行い、15 年に亘り管理作業を継続し、林床植生の種多様性の増加や希少植物の保全に貢献している。未就学児や小学生を対象とした環境教育の実施や、大学生の演習・実習の野外フィールドとしての活用も展開している。	

第45回 緑の都市賞 概要

■目的

緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取り組み、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに卓越した成果を上げている市民活動団体及び企業等、並びに都市の緑の保全や緑化の推進にあたり個性的な施策に取り組み、顕著な成果を上げている地方公共団体を顕彰することにより都市緑化普及啓発の推進、地球にやさしい生活環境の保全、創出を図り、もって緑豊かな安全、快適な都市の実現に寄与することを目的としています。

■募集の対象

緑の市民協働部門	応募資格：主に市民団体 ボランティアを基本とした緑化活動で、地域の社会や環境へ貢献するもの
緑の事業活動部門	応募資格：主に民間事業者 ・民間、公共を問わず都市の緑の保全や創出を事業活動またはその一環として取り組んでいるもの ・NPO法人等で、公園の指定管理者など活動の大半を委託事業として取り組んでいるものも含む ・学校や病院等で、業者委託として緑地の整備や管理を行っているものも含む
緑のまちづくり部門	応募資格：主に市区町村 都市全般の緑化に取り組み、その成果をあげているもので、地域の個性を活かした緑化を展開しているもの

■表彰

内閣総理大臣賞	1点	[賞状、副賞及び活動助成金(20万円)]
国土交通大臣賞	3点以内	[賞状、副賞及び活動助成金(15万円)]
都市緑化機構会長賞	3点以内	[賞状及び活動助成金(10万円)]
第一生命財団賞	1点	[賞状及び活動助成金(10万円)]
奨励賞	若干	[賞状及び活動助成金(5万円)]

※副賞の活動助成金は「緑の市民協働部門」の受賞団体のみを対象。

■スケジュール

募集期間	2025年4月1日～6月30日	入選発表	2025年10月17日
審査会	一次：2025年8月22日 二次：9月17日		

■審査委員

委員長	樺山 紘一	公益財団法人渋沢栄一記念財団 理事長
委員	池邊このみ	千葉大学 グランドフェロー
	北奥郁代	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	佐藤 滋	早稲田大学 名誉教授
	篠沢 健太	工学院大学建築学部 教授
	中田 裕人	国土交通省 都市局長
	野口 智子	ゆとり研究所 所長
	堀内 保潔	一般社団法人日本経済団体連合会 産業政策本部長
	柳井 重人	千葉大学大学院園芸学研究院 教授
	棚野 良明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

(順不同、敬称略、2025年9月現在)

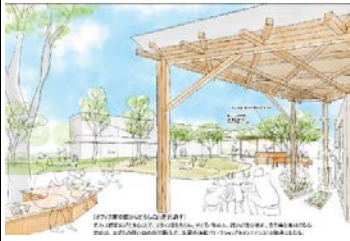
■主催等

主 催：公益財団法人都市緑化機構
後 援：国土交通省、総務省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、第一生命保険株式会社
特別協賛：一般財団法人第一生命財団
協 力：公益社団法人日本青年会議所、一般社団法人日本公園緑地協会、
一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般財団法人公園財団、
一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、公益財団法人河川財団、
一般社団法人日本建設業連合会

第36回 緑の環境プラン大賞 受賞団体

応募総数48件、審査会：2025年9月5日

◎国土交通大臣賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	遊びを通して子育ち、 樹育で「森の入口」 プロジェクト (東京都渋谷区)	一般社団法人 渋谷の遊び場 を考える会	恵比寿南一公園内のプレーパークを対象に、シンボルツリーや葉・実で遊べる樹木を植栽し、緑陰環境を創出するプランです。酷暑の中でも子どもたちが健康かつ安全に遊べる環境づくりを目指している点、渋谷という立地特性から緑化の普及啓発効果が期待できる点等が評価されました。	
ポケット・ガーデン	地域の縁側 ～暮らしの井戸端 プロジェクト～ (宮城県仙台市)	株式会社 未来企画	福祉複合施設の中庭に、井戸(非常時災害用認定)や縁側、ビオトープを中心とした空間を創出し、多世代交流の場を作るプランです。施設の中心に位置した井戸端空間では、縁側に自然と人が集い、井戸では手押しポンプによる水汲み体験、湧水・雨水を活用したビオトープは子どもたちの環境教育の場となる点が評価されました。	

◎都市緑化機構賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	鵜崎コモンズ みんなの庭 (兵庫県淡路市)	鵜崎コモンズ	住宅街で放置されていた未利用地を、地域住民の発意で 2023 年からコミュニティガーデンとして整備し、マルシェや「まちなかオペラ」等の交流の場として活用しています。本プランは、この庭をさらに充実させ、持続可能なまちづくりの拠点とするプランです。地域住民の主体性やこれまでの取り組み実績等が評価されました。	

◎第一生命賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	「結びの丘」 ～地域と未来を結ぶ 桜の名所～ (宮城県仙台市)	七北田公園 活性化協議会 7DAYS,Peace.	七北田公園活性化協議会7DAYS,Peaceは、公園の賑わい創出と景観改善に取り組んでいます。本プランはサクラの植栽やローメンテナンスな花壇づくり等により、園内の低利用地の魅力向上を図るものです。世代間交流を生み、公園のシンボル性を高めている点、維持管理計画が具体的で実現可能性が高い点等が評価されました。	

◎第一生命財団賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	Bless Garden (ブレス・ガーデン) ～おかえりと、 ひと息と～ (岩手県下閉伊郡 山田町)	一般社団法人 BlessU	震災復興の課題として残った心や絆の復興に取り組むため、シングルマザーを中心に多世代が関わる「参加型ガーデン」を作るプランです。防潮堤に囲まれた無機質な景観に、季節ごとの草花や樹木を取り入れることで、彩りとやわらかさを創出し、「誰もが居ていい場所」を目指しています。また、自然とふれあう体験を通じて、ひとり親家庭の子どもの成長を地域で支える点も評価されました。	

部門	作品名(場所)	受賞者名	概 要	
ポケット・ガーデン	「ゆりあげ・浜辺の花壇」 (宮城県名取市)	ゆりりん愛護会	震災の記憶と地域の自然を未来へつなぐため、海浜植物の海砂花壇を整備するプランです。地域の自然環境保全に根ざした地域固有の海浜植物に特化した質の高い緑化を通じて、子どもたちの自然を愛する心の醸成と、高齢者の心のケアにも寄与する点が評価されました。	
	春夏秋冬 素材のやま庭 (茨城県石岡市)	一般社団法人 やさび	にほんの里 100 選の里山に棚田や雑木林を整備し、資材採取・自然観察・地域交流の場として再生するプランです。耕作放棄地の稲田・水路をビオトープに再生し、水生生物の居場所を確保する等の環境改善に加え、地域文化の継承と交流を促進する点が評価されました。	
	地域の笑顔が広がる リサイクルファーム (埼玉県秩父市)	学校法人 弘道学園 秩父こども園	園敷地と隣接する里山を整備し、園児の環境教育や地域住民の交流を促進するプランです。里山に堆肥場や畑を整備し、園児に循環型農業を意識した自然と関われる「学びの場」を提供すると共に、地域住民との里山の活用と管理意識の向上を促す取り組みが評価されました。	
	電車で広がる 地域コミュニティ 「駅庭」 (京都府京都市)	嵐電沿線 協働緑化 プロジェクト	駅ホーム隣接のスペースを「駅庭」として整備し、育てた苗を電車で他駅に運び育て、さらにプロジェクトの発展を目指すプランです。地域住民と連携した苗の育成やオリジナルプランターの導入、沿線に広げる循環型の取り組みなど、駅の新たな価値を創出している点が評価されました。	
	兵庫県姫路市 『安富町花あじさい 復活プロジェクト』 (兵庫県姫路市)	姫路市立 安富中学校	学校・PTA・地域・企業・行政が共創し、町花「あじさい」を復活させ、学習・交流拠点を創出するプランです。生徒が主体となり「あじさいの丘」等を整備し、あじさい文化継承の拠点とする点や、海洋残渣を活用したサーキュラーエコノミーの仕組み構築等が評価されました。	
	あいあいの杜 広場 (岡山県瀬戸内市)	特定非営利 活動法人 あいあいの杜	園庭の緑化と隣接する山の整備で地域の癒しの場を創出するプランです。草花や野菜の栽培による自然との触れ合いを通じて、命を育む体験の場を作るとともにヒートアイランド現象の軽減にも寄与。園庭を開放し、地域住民の交流の場を目指している点も評価されました。	
	「街中で集える憩いの 木漏れ日スポット」 (大分県大分市)	社会福祉法人 新樹会 南春日こども園	園庭を緑化し、併設するカフェを通じて誰もが集えるコミュニティスポットを創出するプランです。植栽により「実のなる木かげ」など役割のあるコーナーを設け、自然体験を通じた学びの場を提供。また、地域住民に園庭を開放し、コミュニティ活性化につなげる点も評価されました。	
	空き地再生！ 安らぎとふれあいの ビオトープガーデン (大分県大分市)	宗教法人 教尊寺	境内にある空き地を再生し、地域住民や園児に憩いと学びの場を提供するプランです。砕石地の土壌改良と在来種の植栽で生物多様性を育むビオトープガーデンを創出。準絶滅危惧種の生息環境回復にも寄与するガーデンを通じて世代間交流を促す取り組みが評価されました。	

第36回 緑の環境プラン大賞 概要

■目的

全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事助成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図り、生活の質の向上やコミュニティの醸成等につなげるものです。

■募集の対象

シンボル・ガーデン部門	全国を対象	緑の持つ環境保全機能(ヒートアイランド緩和効果・生物多様性保全効果等)を積極的に取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成やコミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ地域のシンボリックな緑地プランを募集します。
ポケット・ガーデン部門	全国を対象	日常的な花や緑の活動およびクールスポットの創出を通して、地域交流やコミュニティの活性化・子どもの遊び場作り、保育園・幼稚園、学校、福祉施設等での情操教育や身近な環境の改善等のアイデアを盛り込んだプランを募集します。

■表彰

●シンボル・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点	副賞 1000万円以内（工事に対する助成金）
都市緑化機構賞	1点	
第一生命賞	1点	

●ポケット・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点	副賞 150万円以内（工事に対する助成金）
第一生命財団賞	1点	
コミュニティ大賞	8点	

■スケジュール

募集期間 2025年4月1日～6月30日 入選発表 2025年10月17日
審査会 2025年9月5日

■審査委員

委員長	進 士	五十八	東京農業大学名誉教授・元学長 福井県立大学名誉教授・前学長
委員	坂 井	文	東京都市大学 副学長・都市生活学部 教授
	佐々木	美 恵	産経新聞 取締役 営業統括、東京メディアビジネス局長
	隅 野	俊 亮	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	中 田	裕 人	国土交通省 都市局長
	永 山	妙 子	マネジメントコンサルタント
	三 上	真 史	園芸デザイナー・1級FP技能士・タレント
	村 上	暁 信	筑波大学 システム情報系 教授
	北 奥	郁 代	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	柳 野	良 明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

（順不同、敬称略、2025年9月現在）

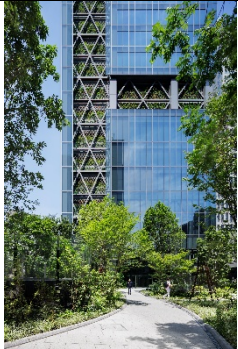
■主催等

主 催：公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団
後 援：国土交通省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、第一生命保険株式会社
協 力：一般社団法人建設広報協会、一般社団法人日本公園緑地協会、
一般社団法人日本造園建設業協会、都市緑化基金等連絡協議会、株式会社産業経済新聞社

第24回 緑化技術コンクール 受賞作品

応募総数件23件、審査会：2025年9月11日

◎国土交通大臣賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑化施設部門	赤坂グリーン クロス (東京都港区)	積水ハウス(株)/日本生命 保険相互会社/(株)日建設 計/大林・銭高・岩田地崎 建設共同企業体/箱根植 木(株)/(株)日比谷アメニス	本施設は、駅まち一体開発と総合設計制度を活用し、公開空地「森のゲート」、輻射熱抑制と多様な植栽構成の壁面緑化を有する緑化施設。高さ150mまで連続する超高層ビルの壁面緑化ファサードと、意匠・構造・設備と融合した都市環境に貢献する高度な緑化技術が高く評価された。	 ©Miyuki Kaneko / Nacása & Partners Inc
緑化施設部門	2025年 日本国際博覧会 大屋根リング (大阪府大阪市)	(公社)2025年日本国際 博覧会協会/藤本壮介/(株) E-DESIGN/(株)東畑建 築事務所/(株)梓設計/(株)大 林組/清水建設(株)/(株)竹中 工務店/大和リース(株)	本施設は、世界最大の木造建築物の上部に、会場を展望できる回遊路と「季節の時計」をコンセプトとした34,000㎡の屋上庭園を有する緑化施設。緑化を成立させるため薄層の基盤システム、四季の彩を表現する在来種植栽と維持管理等、都市施設に有効な技術の実装化が高く評価された。	

◎環境大臣賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑化施設部門	HARUMI FLAG (東京都中央区)	鳳コンサルタント(株)/三井不動産レジデンシャル(株)/三菱地所レジデンス(株)/野村不動産(株)/住友不動産(株)/住友商事(株)/東急不動産(株)/東京建物(株)/NTT都市開発(株)/日鉄興和不動産(株)/大和ハウス工業(株)/三井不動産(株)/(株)日建設計/(株)日本設計/(株)三菱地所設計/東急建設(株)/(株)長谷工エコーポレーション/前田建設工業(株)/三井住友建設(株)/住友林業緑化(株)/イビデングリーンテック(株)/(株)石勝エクステリア/東武緑地(株)	本施設は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後、「海に浮かぶ緑の環境都市」「魅力的な都市空間の創出」をテーマに再整備された緑化施設。生物多様性に配慮した植栽計画、水景の水質維持と上水使用量の低減を実現したハイブリッド水景・灌水システムが高く評価された。	
緑化施設部門	石神井公園駅～ 大泉学園駅間の 高架下広場 (東京都練馬区)	西武鉄道(株)/(株)西武不動産/西武緑化管理(株)/(株)武田清明建築設計事務所/ACID NATURE 乙庭	本施設は、鉄道高架下で光・風・水の資源を活用して、創出された緑化施設。高架での雨水循環利用へのチャレンジと、確立された緑化技術・工法の採用、夏の高温化が進む中、鉄道高架下という特殊な空間のメリットに着目し、イベントなどの地域の活動空間に位置づけた点が高く評価された。	 ©hamada masaki

◎日本経済新聞社賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑化施設部門	竹中育英会 学生寮 (東京都練馬区)	(株)竹中工務店/(公財)竹中育英会	本施設は、生態系に配慮した植栽計画とグリーンインフラを実装した緑化施設。近隣の公園で発生した剪定枝を利用したバイオネストづくりと寮生による自主的な花壇管理等、環境意識の醸成を目的とした資源循環と参加型維持管理が企業による高等教育における貢献のあり方として評価された。	 ©鈴木文人
緑化施設部門	虎ノ門ヒルズステーションタワー・グラスロック・江戸見坂テラス (東京都港区)	森ビル(株)/(株)久米設計/(株)タウンスケープ研究所/(株)グリーン・ワイズ/鹿島建設(株)/イビデングリーンテック(株)/(株)日比谷アメニス	本施設は、赤坂・虎ノ門緑道に面し、エリア全体の回遊性の向上と賑わいを創出する緑化施設。建物デッキや壁面、斜面地、室内、上層階など多様で大規模な緑化により、緑のネットワークを構築している。地下支柱や人工土壌、灌水システム等高い緑化技術と巧みなデザイン性が評価された。	

◎都市緑化機構会長賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑化施設部門	聖蹟桜ヶ丘北地区 既存堤防の護岸に 資する超緩勾配 盛土整備と緑地の 創出 (東京都多摩市)	東京建物(株)/(株)東栄住宅/京王電鉄(株)/伊藤忠都市開発(株)/三井住友建設(株)/光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所(株)	本施設は、豊かな自然が分断され、駅と川を繋ぐ回遊性の低さを解決した緑化施設。堤防護岸も兼ねた超緩勾配盛土を民間事業者が行った珍しい事例であり、植物生育に適した環境の実現、地域に根差した生物多様性の向上、多摩川の自然環境を活かしたイベント実施等、地域への貢献度が評価された。	
特定テーマ部門	おうち植物園	手づくり建築工作舎	本技術は、エンドユーザーの植物選定を助ける緑化技術。建築分野の光環境解析を活用し、植木鉢の色でその植物に必要な光の量が直感的にわかり、置きたい場所に適した植物が選定可能となる。屋内緑化について、市民レベルで緑化の楽しさを伝える仕組みとして優れていると評価された。	

◎2027年国際園芸博覧会協会特別賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
特定テーマ部門	T-バイオフィリック グリーン®	大成建設(株)	本技術は、四季の変化をとり入れた、自然な外観を有する緑化技術。プランターは強度と耐久性に優れたステンレスを採用、外周部の土壌はアクリル系樹脂で固化させた。屋内で生育可能な在来種と踏圧に耐える土壌を組み合わせることで、屋内緑化における多様性確保する将来性のある製品として評価された。	

第24回 緑化技術コンクール 概要

■目的

地球温暖化対策、2030年ネイチャーポジティブの実現、官民連携による居心地の良い空間づくりやにぎわい創出等の実現に資する緑化技術について、積極的に取り組み優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰することにより、都市緑化技術の一層の普及推進を図り、もって都市緑化技術の新たなフェーズへの移行に寄与することを目的とします。

■応募対象

緑化施設部門	良好な都市環境の形成や気候変動への適応、生物多様性確保、幸福度（well-being）の向上等の課題解決に資する緑化施設。
特定テーマ部門 「GREEN×EXPO 2027（国際園芸博覧会）に向け、日本から発信する緑化を支える新たな技術」	（以下の条件を満たす製品・技術） ① 緑豊かな都市生活の実現に資する革新的で、造園・緑化を支える将来性のある製品・技術 ② 製品・技術の開発が終了し、募集締切までに日本国内において自社名義で販売・提供を開始または予定している製品・技術

■表彰

表彰	部門と表彰作品数	適用
国土交通大臣賞	異なる部門から2点以内	土木・建築計画、都市計画等の観点から、特に技術水準が高く、今後の都市緑化技術の模範となる最も優れた作品、製品・技術。
環境大臣賞		生物多様性、環境への配慮等の観点から、特に技術水準が高く、今後の環境緑化技術の模範となる最も優れた作品、製品・技術。
日本経済新聞社賞		商業施設における緑化の効果により、経済・社会等に好影響を与えた緑化技術等に優れた作品、製品・技術。
都市緑化機構会長賞	全部門から1～2点以内	技術面や緑化技術の普及啓発面での先駆的な取り組みが優れた作品又は、特に類を見ない特色を有する優れた作品、製品・技術。
2027年国際園芸博覧会協会特別賞	特定テーマ部門のみ1点	2027年国際園芸博覧会において、日本から海外への発信が可能な、緑豊かな都市生活の実現に資する革新的で、造園・緑化を支える将来性のある製品・技術で、世界へ発信が期待できる作品。

■スケジュール

募集期間	2025年4月1日～6月30日	入選発表	2025年10月17日
審査会	2025年9月11日		

■審査委員

委員長	山田 宏之	大阪公立大学農学部 教授
委員	飯島 健太郎	東京都市大学環境学部環境創生学科 教授
	井上 洋	明治大学国際日本学部 兼任講師
	岩崎 哲也	兵庫県立淡路景観園芸学校、兵庫県立大学大学院 准教授
	大賀 亨	一般財団法人日本建築センター 理事
	貝島 桃代	スイス連邦工科大学チューリッヒ校建築振興学 教授 / アトリエ・ワン
	北奥 郁代	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	小池 政則	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務次長・業務執行理事
	佐々木 大輔	日経BP社 日経クロステック建設編集長
	中山 美恵	環境省 大臣官房環境保健部企画課 熱中症対策室長
	望月 一彦	国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長
	棚野 良明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事（順不同、敬称略、2025年9月現在）

■主催・後援等

- ・主催：公益財団法人都市緑化機構
- ・後援：国土交通省、環境省、東京都、株式会社日本経済新聞社、第一生命保険株式会社、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
- ・特別協賛：一般財団法人第一生命財団
- ・協賛：住友林業株式会社
- ・協力：一般財団法人公園財団、公益財団法人都市計画協会、一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、一般社団法人日本公園緑地協会、一般社団法人日本造園建設業協会、一般社団法人日本造園組合連合会、一般社団法人日本公園施設業協会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人公共建築協会、一般社団法人不動産協会、一般社団法人日本植木協会、一般社団法人都市計画コンサルタント協会、公益社団法人日本造園学会、一般社団法人日本ビルディング協会連合会、一般社団法人日本建築学会、一般財団法人日本建築センター、一般財団法人日本宝くじ協会、一般財団法人民間都市開発推進機構、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟、公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター

第37回 緑の環境プラン大賞

都市の緑3表彰

GREEN×EXPO2027開催特別企画 『The Garden of Life』

2027年（令和9年）に開催される『GREEN×EXPO2027（2027年国際園芸博覧会）』会場において、『The Garden of Life』をテーマに、生命のにわを表現する作品を募集します。2027年は第一生命の創立125周年にあたることから、例年実施しているシンボル・ガーデン部門「第一生命賞」の特別企画として、本募集を実施いたします。

募集プランの対象地

今回募集するプランの対象地は、横浜市の旭区・瀬谷区に跨る約242haの広大な敷地の博覧会会場の正面エントランスから各ゾーンへと導かれる主要な動線上に位置し、大きな期待を抱いて訪れる世界各国からのEXPO来場者に対し、最初の感動を届ける大きな役割を担う空間となります。

（幹線園路の両側を合わせた約250m≪長さ約90m×幅約2.5～3m≫）



プランのテーマ

募集のテーマは、『The Garden of Life』です。

第一生命は、2027年に創立125周年を迎えます。

私たちはこれまで、「一生涯のパートナー」として多くの人々の人生に寄り添い、一人ひとりの幸せを支える存在でありたいと願い続けてきました。

そして、これからも共に歩み、未来をひらく存在として、多様な幸せと希望に満ちた、サステナブルな社会の実現を目指してまいります。

『The Garden of Life』

それは、生命の営みだけでなく、人生や日々の暮らしといった広い意味での“Life”を育む緑の空間です。人は緑に守られながら、生命を育み、つないできました。

緑は、私たちのかけがえのないパートナーです。植物が生き生きと芽吹き生長する、生命の輝きを感じられるガーデンを、多くの人々がつながり共に創り上げていく。

そこから生まれる、新たな可能性と幸せに満ちた美しい風景をご提案ください。

応募にあたっての4つのポイント

① 多様な主体が協力しあう共創によるガーデンづくり

申請者は、市民、企業・団体、学校などを含みプロフェッショナルやアマチュアを問わず、デザイン、制作、維持管理など各プロセスを分担するなど、できる限り多くの人々が協力・協働できる応募形式を推奨いたします。

② 多くの来場者が訪れる、非常に好立地な場所での作品空間

展示エリアは、メインガーデンの入口から端まで約90メートルにわたる園路の両側を飾るものであり、博覧会来場者の期待と高揚感をより一層高めるのに適した場所であるといえます。

③ 展示期間は2027年3月から9月までの約6カ月間

制作されたガーデンは、博覧会の開催期間は約6ヶ月間にわたるため、良好な状態を維持するための補植や植替えなどのメンテナンスの方針と計画をお示しいただく必要があります。（博覧会が終了した後は、展示も終了となります）

④ 受賞したプランには、上限2,500万円を支給

支給金額には、プランを実現するための植栽費や資材費、制作費、その後の維持管理費（水遣りなどの日常管理を除く）、撤去費用が含まれます。

審査のポイント

【**テーマの表現力**】テーマに対する独自の創意工夫が施された魅力的プランであるか。

【**造園技術の高さ**】対象エリアにおける優れたデザインになっているか。制作・施工や維持管理における造園技術の高さを示す実績があるか。

【**環境への寄与**】緑の環境プラン大賞の募集趣旨や GREEN×EXPO2027 開催理念に掲げる環境の保全・再生に寄与するプランであるか。

【**維持管理**】展示期間中の維持管理の体制、方法が明確になっているか。

【**プレゼンテーション**】世界の GREEN EXPO のメインアプローチにふさわしい意欲やプランに対する情熱が感じられるか。

応募にあたって

- 市民、企業・団体、学校などを含むプロ・アマ、国籍を問いません。ガーデニングや造園に限らず、芸術、文学、空間デザインなど幅広い分野からの応募を募ります。
- デザインから制作・施工、博覧会開催期間中（6カ月間）の維持管理まで、自ら実施できる体制での応募をお願いします。
- 応募できるプランは、1応募者につき1作品までとします。

募集説明&交流セミナーの開催（予定）

特別企画『The Garden of Life』の募集の趣旨や応募条件をわかりやすく説明するとともに、どのような作品が望ましいかについて参加者同士が意見を交わし、アイデアを育てる場として開催します。

多様な視点からテーマに沿った魅力的なプランが生まれることを期待し、フリーディスカッション等を通じて、より具体的で実現性のある提案につなげます。

日時:2026年 2月12日(木) 場所:第一生命 日比谷本店(第一生命日比谷ファースト)

具体的なセミナーの申込方法、内容の詳細は12月上旬に都市緑化機構のホームページ(<https://urbangreen.or.jp/>)に掲載予定です。

スケジュール（予定）

